

クーポン券でがん検診無料

40歳代からがんになる人が増加し始めます。男性は2人に1人、女性は3人に1人が、がんと診断されるほど身近な病気です。継続して検診を受け、早期に発見することで治る確率も高くなります。

一人でも多くの方にがん検診を受けていただくために、「がん検診無料クーポン券」を5月下旬に対象となる方へ郵送します。症状がなくても検診を受け、健康管理に努めましょう。

■対象者とがん検診の種類

対象者	がん検診
41歳（昭和49年4月2日～50年4月1日生まれ）	肺・胃・大腸・子宮頸・乳がん
46歳（昭和44年4月2日～45年4月1日生まれ） 51歳（昭和39年4月2日～40年4月1日生まれ） 56歳（昭和34年4月2日～35年4月1日生まれ） 61歳（昭和29年4月2日～30年4月1日生まれ）	大腸がん
43歳（昭和47年4月2日～48年4月1日生まれ） 48歳（昭和42年4月2日～43年4月1日生まれ） 53歳（昭和37年4月2日～38年4月1日生まれ） 58歳（昭和32年4月2日～33年4月1日生まれ）	乳がん ※平成25年度に無料クーポン券を利用していない方
21、22歳（平成5年4月2日～7年4月1日生まれ）	子宮頸がん

集団乳がん検診のお知らせ

乳がんは、早期発見、早期治療で、5年生存率は99.4%（（財）がん研究振興財団『がんの統計'13』より）と100%に近い数値となります。早期の乳がんは、しこりの大きさが2cm以下で乳房の外に広がっていない段階のことを言います。

早期発見のためには、症状がないうちに、2年に1回定期的に検診を受ける必要があります。この機会にお申し込みください。

■日程／6月1日（月）、15日（月）、7月6日（月）、29日（水）、8月3日（月）、17日（月）、31日（月）

■場所／健康福祉会館 ■定員／各日30人

■対象／40歳以上（昭和51年4月1日以前生まれ）で、昨年度受けていない方

■料金／40歳代3,000円、50歳以上2,800円

■申込／健康課へ電話または窓口で申し込みください。
※10月以降の日程は、広報かさい4月号と一緒に配布の「健診のお知らせ」で確認してください。

【問合せ先】 健康課（健康福祉会館内） ☎428723 FAX427521 kenko@city.kasai.lg.jp

国民健康保険の加入・脱退手続きはお早めに

右表の「こんなとき」に該当する場合は、お早めに届け出をしてください。手続きには印鑑が必要です。

・退職により職場の健康保険の資格を喪失しても、一定の加入期間があれば、退職前の健康保険に引き続き加入（任意継続）できる場合があります。手続きや保険料などは、加入していた健康保険へ相談してください。

・解雇や倒産などの理由で失業となった場合、保険税が軽減されることがありますので相談ください。申請には、ハローワークが発行する雇用保険受給資格者証が必要です。

	こんなとき	手続きに必要なもの
国保に加入	他の市町村から転入してきた	他の市区町村の転出証明書
	退職等により職場の健康保険をやめた	健康保険資格喪失証明書
	職場の健康保険の被扶養者からはずれた 子どもが生まれた	出生証明書、母子健康手帳
国保を脱退	他の市町村へ転出する	保険証
	職場の健康保険に加入した 職場の健康保険の被扶養者になった	国保と職場の健康保険の両方の保険証
	国保加入者が死亡した	保険証
その他	住所・氏名・世帯主が変わった、世帯を合わせた・分けた	保険証
	保険証をなくした、汚れて使えなくなった（再交付） 就学のため、子どもが市外に転出した	運転免許証などの身分を証明するもの 保険証、在学証明書

【問合せ先】 市民課（国民健康保険係） ☎428721 FAX421792 shimin@city.kasai.lg.jp

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

加西病院の新しい取り組み

■病院目標

平成27年度で3年目となる病院目標「経営と医療の質の一体的向上」のテーマを『プロ意識を持って業務に当たろう!』と決めました。

医療に携わる多くの職種は国家資格を有するプロです。素人にはできない知識・技能を持つと共に、何よりも専門事項に対する的確な判断力と責任感がプロたるゆえんです。プロ意識を高め、プロの力量を磨き、患者さんへの医療の質を高めることを目標にします。

■診療体制

非常勤体制であった小児科で、26年度常勤医師を配置することができました。さらに産婦人科の常勤医師を3名に増員することができました。加西市が人口を増やし元気なまちであり続けるうえで大切な周産期成育医療が充実します。

一方、高齢の患者さんは増加しています。入院医療で最も困ることの一つに、生活環境が変化した患者さんが譫妄（せんもう：急激に起こる意識の変容）に陥り、周囲との意思疎通が取れなくなることがあります。昨年より院内に「譫妄チーム」を立ち上げ、譫妄の予防と正しい対処法に取り組んできました。

今年度は新たな職種である心理療法士を採用し、精神疾患の治療の幅を広げると共に、譫妄や認知症の問題に取り組めます。

■地域包括ケア病棟

広報かさい3月号でも紹介しましたが、5病棟を「地

域包括ケア病棟」にする運用を始めます。地域包括ケア病棟は、急性期治療が終わった患者さんに在宅復帰していただく支援機能を有します。患者さんにとっては退院まで回復期医療の期間があることで在宅復帰しやすくなり、病院にとっては市民に高い医療密度を提供できる7対1看護師配置を維持しやすくなります。

患者さんには、入院中に病棟の変更が提案され、急性期と異なる医療を受けていただくことが生じます。この仕組みと利点をご理解いただき、上手に利用いただけますようお願いいたします。

■市民からの応援

地元で急性期総合病院を持つことは、これまで当たり前の行政サービスと受け取られてきたと思います。それがなければ安心して暮らすことができないからです。



病院の美化作業をボランティアで行っていただいています。

しかし、昨年成立した医療介護総合推進法と社会保障費高騰に促された地域医療再編方針は、二次医療圏での病院機能の再編統合を目指しています。市民が身近に総合病院を残せるかどうか、県主導の地域医療構想調整会議での厳しい綱引きが始まろうとしています。

その際に最も力になるのは、頼れる病院を地元に残したいという市民の強い意志です。そのような方々が加西病院の応援団となってくださることを期待しています。

(病院事業管理者・院長 山邊裕)

北条鉄道利用促進キャンペーン「片道無料」

加西市は、北条鉄道の良さを認識してもらおうと「北条鉄道利用促進キャンペーン」を実施します。優待券を利用して乗車された方は、1回分の乗車が無料になります。また、北条鉄道からドーナツをプレゼントします。キャンペーン期間中の沿線イベントなどにご利用ください。

■期間／5月1日（金）～7月31日（金）

■利用方法／優待券を切り取り、降車（運賃支払い）時に運転士にお渡しください。

■注意事項／1枚につきお一人様、1回限り有効です。
※複写、印刷したものは無効です。



桜が満開の法華口駅

北条鉄道利用促進キャンペーン
～応援は年1回の乗車から～
北条鉄道乗車優待券

有効期限／平成27年7月31日
※複写・印刷したものは無効



【問合先】 北条鉄道(株) ☎0036